



雷国光 董事長・  
總經理

## 昭和興産

### 昭和興産(上海)貿易有限公司

# 電材領域コアに持続成長



今年設立20周年を迎える昭和興産(上海)貿易は、次のステージに向けて新たな柱を育てる。同社は2003年の設立以降、順調に業績を伸ばしてきた。13年から董事長・總經理を務める雷国光氏は「輸出入分野の幅が拡大し、年々ポートフォリオが安定してきた。近年はコロナ禍などで落ち込んだ分野もあったが、黒字経営を維持できている。」と振り返る。

今年設立20周年を迎える昭和興産(上海)貿易は、次のステージに向けて新たな柱を育てる。同社は2003年の設立以降、順調に業績を伸ばしてきた。13年から董事長・總經理を務める雷国光氏は「輸出入分野の幅が拡大し、年々ポートフォリオが安定してきた。近年はコロナ禍などで落ち込んだ分野もあったが、黒字経営を維持できている。」と振り返る。

そのなかでも中国法人の昭和興産(上海)貿易は情報・通信、モビリティの領域で強みを持つ。成長市場の半導体分野では、半導体搬送用容器の原料を日本、韓国から輸入し、国内向けに販売している。高純度、高剛性などさまざまな特性が必要とされる。さらに同材料の供給をきっかけに電気自動車(EV)周辺にも顧客網が広がるなど副次的な効果も生んでいる。

リン酸塩類の輸出ビジネスも柱の一つだ。日本、タイへの輸出は主に食品向けがターゲット。主な仕入れ先は湖北や四川からとなっている。ポリイミドモノマーも成長エンジンの一つに位置づける。なかでも新エネルギー、EV、フォルクスワーゲンなどにおいて成長ドライバーに位置づけ期待を寄せる。

中国マーケットは、ここにかけてコロナ禍から脱し、急速に動き出している。中国国内市場向けのみならず、日本・タイなど、ほかの拠点マーケットへの供給拡大に一層注力し、昭和興産グループの海外戦略をリードしていく。

上海市長寧区遵義路100号南豊城A幢2205-06室  
電話+86-21-6235-1028